

事業番号	0059	事業名	人権関係情報提供活動等の充実強化
------	------	-----	------------------

外部有識者の評価結果

<事業の支出先及び使途の把握水準について>

1 十分	2
2 改善の余地あり	3
3 不十分	1

（評価シートに記載されたコメント）

【十分】

- ・ 一般競争入札を推進してほしい。

【改善の余地あり】

- ・ 随意契約の中身、ライブラリーのニーズ、質の把握が重要
- ・ 実態が分かりにくい。
- ・ 国に1つしかないセンターにしては、有効性の把握分析が甘いと感じる。

【不十分】

- ・ 個別の事業内容について、十分なチェックが行われているかとても疑問

<事業についての見直しの余地について>

1 一部改善	1
2 抜本的改善	3
3 廃止	1
4 現状のまま	1

【一部改善】

- ・ 人権啓発は国として大変重要な事項であるだけに、今の事業内容が国家としてあるべき形であるのか、検討の余地があると思われる。
- ・ ライブラリーやフェスティバルが、今、実施すべきことなのか、検証の余地があるのではないか。

【抜本的改善】

- ・ ライブラリーの在り方、パンフレットの必要性についての効果的、効率的なのかの検討が必要
- ・ 学校教育（小・中・高等）の一貫として実施すべき事業である。
- ・ センターの運営経費の合理化、業務内容を重点化する、この2つにより、抜本的に改善する、或いは、廃止して本省或いは他の機関で吸収することを検討し、実行する。事業自体が非常にファジーであるので必ず改善点はある。
- ・ 随意契約がなぜ全てなのか。

【廃止】

- ・ 真に国として実施すべきものを精査した上で、必要不可欠なもののみ直接実施すればよい。
- ・ 財団は設立以来20年以上が経過し、「ナショナルセンター」をうたうならば、国に頼ることなく自立する道をとるべき。
- ・ 実施状況を厳格に見れば、ほとんど所期の目的を達成できていないことは明らか

【現状のまま】

- ・ 事業の第三者評価、PDCAの仕組を組織内に構築し、適正な運用ができるようにしてほしい。